

令和6年1月9日



# 学校だより 1月号

横浜市立瀬谷さくら小学校  
校長 場家 誠

学校教育目標 「自分大すき 友だち大すき このまち大すき さくらの子」

(知) 困難なことにもあきらめずに挑戦する子に育てます。

(徳) 物事の善悪をきちんと判断し、辛抱と我慢のできる子に育てます。

(体) 自分や人の命を大切にする子に育てます。

(公) 小さなことでも、社会に役立つための行動ができる子に育てます。

(開) 様々な人とのコミュニケーションを通じて、社会への視野を広げる子に育てます。

## 「このまち大すき さくらの子」

校長 場家 誠

2024年(令和6年)が始まりました。

今年は、夏にパリオリンピック・パラリンピックが開催されます。出場を目指す選手や選手をサポートするスタッフはもとより、出場する選手を応援することになるであろう皆さんも今からドキドキわくわくしているのではないのでしょうか。そんな皆さんにとって、本年が希望に満ちた一年になりますことを、心よりお祈り申し上げます。

さて、旧年中の話になりますが、先月12月9日(土)、本校ふれあい広場にて4年ぶりに「下瀬谷鍋を食べよう会」が開催されました。この会は、下瀬谷小学校の時代から続いているもので、コミスクと本校PTA、キッズクラブの共催イベントです。当日は、コミスクやキッズクラブのスタッフ、PTAの役員・委員を中心とした保護者の皆さんに加え、下瀬谷自治会をはじめとした地域の方々や学援隊の皆さん、そして本校児童が一堂に会し、終始和やかな雰囲気の中で「下瀬谷鍋」作りが進められました。「下瀬谷鍋」という名前は、下瀬谷の地域で生産された野菜を使ったことが由来となっているようですが、今回も地域の方から大根やねぎなどたくさんの野菜を分けていただきました。



今回、このイベントに参加してみて思ったのは、学校教育目標の後半にある「このまち 大すき」につながる貴重な取組だなということです。子どもたちは、保護者とふれあうだけでなく、地域の方や学援隊の方ともふれあうことで「このまち」には素敵な方がたくさんいらっしゃることに気づいたはずですよ。また「このまち」には畑があって、おいしい野菜がとれるということもわかったことでしょう。こうした経験を積み重ねれば、きっと多くの子どもたちが「このまち 大すき」という思いを強くするはずですよ。

「このまち」には、子どもたちのことを大切に思ってくれる素敵な方が大勢いらっしゃいます。また年間を通して、子どもたちも楽しめる様々なイベントが開催されています。ぜひ「このまち」の人と多く出会い、様々な取組に参加し、自分たちのくらす「このまち」を大すきになってほしいと思います。

本年も、子どもたちのためにあたたかなご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。